

## 令和2年度第5回紋別市総合教育会議録

- 1 日 時 令和2年9月17日（木）午後3時00分～3時20分
- 2 場 所 紋別市役所 市長応接室
- 3 出 席 者 紋別市長 宮 川 良 一  
紋別市教育委員会教育長 堀 籠 康 行  
紋別市教育委員会教育長職務代理者 小 林 正 男  
紋別市教育委員会委員 上 林 善 證  
紋別市教育委員会委員 渡 邊 孝 博
- 4 構成員以外の出席者 総務部企画調整課長 竹 本 幸 孝
- 5 事務局関係 教育部長 山 崎 義 一  
学務課長 浜 屋 武 志  
学務課参事 茂 木 洋 人  
学校給食センター長 斉 藤 剛  
生涯学習課長 山 本 晃 男  
スポーツ振興課長 田 島 慎 二  
図書館長 平 野 由 香  
博物館長 大 平 祐 一  
学務課庶務係長 米 田 晃
- 6 協 議 内 容 (1) 紋別市教育大綱の改定について

## 令和2年度 第5回紋別市総合教育会議 午後3時00分開会

### ○宮川市長

定刻になりましたので、令和2年度第5回紋別市総合教育会議を開催いたします。進行につきましては、私が務めさせていただきます。

早速ではありますが、次第に沿いまして、本日の協議に入らせていただきます。協議事項（1）紋別市教育大綱の改定について、事務局から説明をお願いします。

### ○山崎教育部長

教育部長の山崎でございます。

協議事項（1）紋別市教育大綱の改定につきまして、説明させていただきます。資料1をご覧くださいと思います。

始めに1、紋別市教育大綱改定の経緯でございます。この教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、地方公共団体の長が総合教育会議におきまして協議し、国の「教育振興基本計画」を参酌し、その地域の実情に応じ策定するものでございます。大綱の趣旨は、「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策につきまして、その目標や施策の根本となる大綱を定めること」となっておりまして、平成27年11月に「紋別市生涯学習推進計画」をベースにして、当初の「紋別市教育大綱」、対象期間は、平成28年度から平成30年度を策定したところでございます。平成30年4月には、教育大綱の新たな対象期間、平成30年度から平成32年度として、教育大綱を改定したところであります。

次に2、大綱改定の理由でございます。平成30年度に改定しました現教育大綱の対象期間が本年度までとなっておりますことから、令和3年度からを新たな対象期間として改定するものでございます。

次に3、関連する主な計画でございます。教育大綱は、国の「教育振興基本計画」等を参酌し策定しておりますが、ここに記載しております関連計画を踏まえながら改定を進めていきたいと考えてございます。

次に4、現大綱策定後の環境変化や新たな教育ニーズ等でございます。現大綱の策定後に環境変化や新たな教育ニーズにつきまして記載させていただいております。ここに記載されている項目にも考慮しながら、市教委で改定素案の作成を行っていききたいと考えてございます。

次に5、大綱改定のスケジュールであります。本日、紋別市教育大綱の改定につきまして説明させていただきましたが、今後、市教委において改定作業を進めまして、来年1月までに改定素案を作成、1月の総合教育会議で改定素案を説明させていただきたいと思っております。その後、パブリックコメントを経て、

3月の総合教育会議で改定の承認をいただき、4月より改定されました紋別市教育大綱の推進に取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

以上で、協議事項1「紋別市教育大綱の改定について」の説明を終わらせていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

## ○宮川市長

それでは、ただ今事務局から説明がございましたが、ご意見、ご質問をいただければ幸いです。

## ○小林委員

意見という訳ではありませんが、今の大綱もあつという間に3年経過してしまいました。私の感想としては、3年で改定されるのは早いのではないかという感覚がありました。しかし、実際にやってみると変化するスピードが速いので、3年間での改定は適正だと思いました。例えば、大綱にあるコミュニティ・スクールの推進がありますが、既に全ての学校に設置されました。そういう意味で、この大綱を改定すべきであると考えます。

## ○宮川市長

今回、大綱の対象年度である3年間で、できたこと、進まなかった部分もあろうかと思いますが、その検証も必要なのではないかと思います。今、小林委員から言われたように、コミュニティ・スクールもできましたが、この間も開かれた学校ということで、ずっと言われてきましたが、それが果たして実現してきたのかというと、なかなかそうでもないような気がします。これから実際に、コミュニティ・スクールに期待するものには、大きなものがあるのではないかと思いますので、そういったこともしなければならぬと思います。福祉の部分との兼ね合いの中で、特別支援教育の関係では、紋別市の子育てサポートファイル、それがいったいどのように活用されているのか、継続されているのか、ということがあり、指導員の資質の向上ということで、今、療育センターが中心となって、発達支援の部分をやっておりますので、その連携がうまくなされていて、支援員に対しての実際に携わる方のレベルアップがされているのかどうか、見ていて気になるところです。そのほか、生涯学習の方が、議会でもちょっとあつたような気がしますが、学習活動の市民大学、公民館講座、ことぶき大学関係が、それほど予算でない中で、やっていただいていますけど、そういう部分の見直しと言いますか、お金をかけられる部分があれば、講師等も含めて充実をさせていく、あるいは、ことぶき大学もサークル的な部門だけ多いのですが、外国の方々も来ているので、何々学科ですとか、本当に勉強したいという方々も、結構いらっし

やるのではないかと思うので、学科も見直して、例えば、中国語学科など、そういうのもどうなのかなど。いろいろ考えて、もっと楽しく充実した形でできるような部分はあるのかなという気がします。子どもの居場所づくりについても、現状がなかなか把握できないので、その現状を聞かせていただいて、地域おこし協力隊がやられている事業もあるので、そういったところの兼ね合いが、どのようになってくのかというのも、次の大綱を作る中で、明記していければと思っていますし、大綱の中でそれを実現するために、どのような手法でやられるのかを明確にしていく必要があるのではないかと思います。そういったところを重視して作っていきたいと考えております。

### ○渡邊委員

今年は、新型コロナウイルスの感染があって、例年とは違うようになっていて、非常に多様化したように感じています。先ほど市長が言っていたように、外国語の交流など、いろいろなものを含めて、どんどん幅を広げていかないと世の中に対応していけないのかなと思います。非常に新しいことも盛り込まれる部分も多いですが、さらに充実させていけたらと思います。

### ○宮川市長

アフターコロナで、学校生活の環境も変わらざるを得ない部分もあると思いますので、そういったところをどのような形で入れていけるのか。

### ○渡邊委員

世の中、予想がつかないように動いていると思います。非常に定めていくことが大変なことです。ある程度幅を広げていって、いろいろなものに対応できるようになればいいと思います。

### ○宮川市長

今回のコロナは、本当に、自分自身もそうですけど、2月の末ぐらいから、これだけ大変なことだということを感じ始めたような状況で、それまでは大きなものではないと思っていましたが、病院との打合せでも、インフルエンザと変わらないという感じで進んでいた。そこから重症化の問題が出てきていたので、国も道もちろんですが、万全だったかということ、決してそうではない状況でした。それを教訓にして、こういった災害ではないですが、そういったことが起きた時の対応マニュアルも研究できるのではないかという気がします。

### ○小林委員

先ほど市長から中国語の話がありましたが、国際交流の部分もこの大綱に入れることはどうなのでしょう。

### ○宮川市長

子どもの国際化という部分では、今、タイとの交流をやっていますよね。そういった部分も入れ込めるのではないかと思いますね。

### ○堀籠教育長

外国語というか、異なる文化の理解など、そういったところはあるかと思えます。分野にしてもいいかもしれません。

### ○宮川市長

それぞれの地域の特性を活かした部分というのも、いろいろな国の方が入ってきておりますので、いいかもしれません。

### ○小林委員

実際、紋別市もいろいろな交流をやっておりますし、研修生に対しての支援もやっているのです。

### ○宮川市長

これからは、留学も含めてどんどん入れたいという考え方で短期留学などを行っているのです。その辺ですね。

### ○上林委員

私からは1点ですが、今、コロナ禍で、前回から変わって、これからどんどん進んでいくのがGIGAスクール。今、市長の理解の下に、その整備がどんどん進んで、機材もどんどん入ってきているのですが、その面が変わりつつありますよね。それが学校の中で導入されていく中で、それをサポートする人材が必要になってくると思います。国もデジタル庁と言っておりますから、新時代もやはりその面で、いろいろと環境が変わってくるので、そういう人材をなんとか。いつも何かやるときに問題になってくるのが人材なので、そういった環境に即した人材を育てていく、若しくは求めていくというのが必要になってくるのではと思います。

## ○宮川市長

それについては、どうでしょうか。私たちとしては、なかなか難しいので、外部委託というのが基本になっておりますが、教育委員会の考え方で、そういった人材を確保して、教育委員会のなかで配置していくなどあれば。学校の環境もなかなか分からないので、実際、これにどれだけ対応している状況なのか、分かりませんよね。

## ○堀籠教育長

大綱ですので、ぜひ大きなところだけで、向かっていく市の総合戦略などと同じ、どうしていくのかというところがあるので、いろいろ山積する問題もあるので、問題をそうしていきたいという姿勢を大綱で示すというのがよろしいかと思えます。特に、事務局は教育委員会にあるのですが、大綱の決定は首長になっておりますので、首長が市民の皆様と約束してこういうことを教育の方で示すので、先ほど、市長の話からも幼児教育や特別支援の関係など、教育委員会が所管しない部分もあるので、今回、大綱の策定作業にあたっては、そういった他の行政部門と連携、どういうふうにしていくのかというところも意見を交わしながら決めていきたいと考えております。

## ○宮川市長

また、来月、再来月とこの大綱づくりの中で、この議論をしていただきたいと思えますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

それでは、よろしいでしょうか。以上をもちまして第5回紋別市総合教育会議を終了いたします。どうもご苦労様でした。

午後3時20分終了